

— 目次 —
CONTENTS

- 3 特集
高野口パイル
- 12 フォト特集
橋本の秋祭
- 14 特集
市政功労者表彰・文化表彰
- 15 情報ワイド
▶年未年始の業務案内
▶入札参加資格審査
▶市制20周年キャッチコピー募集
▶FOOD TRUCK FESTIVAL など
- 23 情報ひろば
- 30 タウン情報
- 31 子育てぱーく
- 32 本のひろば
- 33 健康カレンダー
- 34 フォトピックス

今月の表紙



高野口パイルの織物工場の写真です。今月号では、高野口パイルについて、その魅力や生産者の思いを紹介します。

今月のかけ橋人

幻のはたごんぼ
かける × 橋本人



はたごんぼの復活に貢献。農事組合法人くにぎ広場・農産物直売交流施設組合の初代組合長
岡本 進さん（西畑）

はたごんぼは、大きいもので長さ1m、太さは直径10cmにもなる、やわらかさと豊かな香りが特徴の、ゴボウの一種です。江戸時代から生産されていましたが、労力がかかるため昭和初期に生産が途絶えました。

平成21年に地元有志らがはたごんぼの復活に取り組み始め、同25年に法人を立ち上げ、私は組合長に就任しました。生産方法など試行錯誤を繰り返しながら、はたごんぼの生産に成功しました。今では各種メディアに取り上げられ、好評をいただいています。新規就農者も出てきて、嬉しく思います。立派なはたごんぼの生産を続けていって欲しいと期待しています。

特集

高野口パイル

かつて高野口町は、日本の生産高を誇るパイル織物の生産地でした。アザラシの毛皮と間違えるほどに肌触りが良く、品質の高い高野口の「パイル織物」は、自動車のシートやインテリア用品などに頻繁に使用されていました。

近年では、高野口で生産されてきた品質の高いフェイクファーが注目を集め、国内外のハイブランドが採用。表にはなかなか出て来ませんが、メイドイン高野口の「パイル織物」は世界で評価されています。しかし、こういった産業が橋本市にあることを「知らない」ではないでしょうか。

今回の特集は、高野口で生産される高野口パイルの素晴らしさを市民の皆さんにもっと知っていただきたいという思いで制作しました。橋本市が誇る高野口パイルにぜひ触れてみてください。

【産業振興課・秘書広報課】